

消 防 学 校 だ よ り

令和7年5月号

発行年月日 令和7年5月31日
発行 宮崎県消防学校

初任科 安全管理

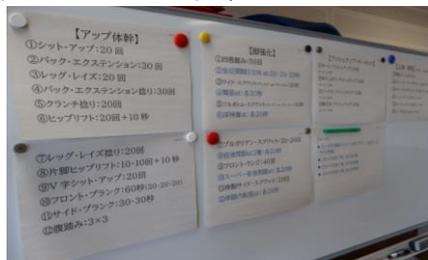
5月1日（水）、宮崎南警察署交通課より講師に来ていただき、交通事故防止についての講義を受けました。講義では、運転者目線のシミュレーションモニターを見ながら、周囲からの飛び出しや割り込みなどを察知し、危険時にはボタンを押し危険予測ができていないかなど、運転時のKYT訓練を行いました。

将来、緊急走行をする際には、通常運転時以上に危険予知ができなければなりません。学んだ事を忘れずに役立ててもらいたいです。



初任科（身体管理と怪我防止）

5月2日（木）、柔道整復師 新保 裕仁氏に講師として来ていただき、「怪我防止と身体管理」について講義と実技を行っていただきました。新保氏は県内消防本部に勤務していた元消防職員であり、自らの経験も交え消防職員に必要な身体造りについて指導していただきました。



初任科（健康と体力）

5月8日（木）、健康と体力と題して、消防体（體）育訓練等で「心と体と勇気」を育てるタフジャパンの鎌田 修広氏に講義をしていただきました。講義では、心理的エネルギーとストレスや危機への対応、自己を肯定することなど、これから消防人として歩いていく初任科生の心に響きました。



初任科（地震対策）

5月12日、13日に株式会社地震工学研究センター技術顧問で宮崎大学 原田 隆典名誉教授から地震対策について講義を受けました。地震のメカニズムや現象、被害状況などの詳しく説明していただきました。

「地震の発生は食い止められないが、被害の方は人間の注意次第でどんなにでも減らせる可能性がある」と地震・津波災害が怖くない社会への道について話をされました。



初任科（燃焼と消火）

5月12日、13日に宮崎大学工学部 宮武宗利助教から、燃焼現象の科学的知識と、各物資に対する消火作用について講義していただきました。

消火活動は、水による冷却消火だけではありません。各消火方法の科学的根拠を理解し活動が出来るようになります。



初任科（宮崎県消防長会主催警防実務研修会）

5月14日（水）、宮崎県消防長会主催の警防実務研修会が本校屋外訓練場で実施され、訓練に初任科生も要救助者役として参加しました。今回の訓練は、県内における災害発生時の活動連携強化を目的に、災害現場を想定し訓練が行われました。

県内の各消防局、消防本部から集結した先輩方の姿を見れた事は初任科生にとって貴重な時間となりました。



初任科（徒手搬送法）

5月15日（月）、搬送法（徒手搬送）の訓練を行いました学習しました。

担架等の搬送器具がない場合の搬送法を学びました。



初任科（消防救助操法）

5月16日（木）、消防救助操法訓練を行いました。資器材を取り扱う様々な活動の基本となるのは、操法です。しっかりと身に付けていきます。



初任科（長距離資器材搬送訓練）

5月22日（木）、長距離資器材搬送訓練を実施しました。訓練は、大規模災害時を想定し、初任科学生に長期的活動に耐える精神及び体力を身に付けさせることを目的として実施し、学生にとって初めての大规模訓練であり、最初の難関となりました。

訓練当日は、地元放送局の取材も入り緊張した面持ちで訓練に取り組んでいました。



消防団（消防団指揮幹部科 分団指揮課程）

5月21日（水）、22日（木）の2日間で、分団指揮課程を行いました。

昨今の災害は、多種多様化、大規模化しており、分団長は、従来の資器材と、ドローンなど情報収集資器材も積極的に活用し、災害防御と団員の安全を確保することが求められます。また、分団内でのマネジメント能力も必要となるため、分団長としての知識及び技術の習得を行いました。



6月の主な行事

○6月16日（月）～7月11日（金）第36期救助科